



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 82 号 (2011)
<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>

ハンブルク世界大会 (8 月 26~30 日)



ロードランナー賞受賞



ブラウン会長と

Japanese Delegation



ハンブルク市庁舎



世界大会スピーチ

岸田 正二郎

FF世界大会が8月26日から30日に開催され、埼玉クラブからは21人と言う大勢が参加し、ロードランナー賞をいただきました。それに対して次のような主旨のスピーチをしました。

本日は賞を頂き有難うございました。

私はフレンドシップフォースに入会して12年になります、入会以来今日まで渡航・受け入れと、多くの国の大勢の方々と交換して、多くの友人が出来ました。

今は時々の手紙や、E-mail などでお互いの家族の出来事を知らせあったりしています。フレンドシップフォースに入会前には考えられなかった海外の友人との交流は気持ちを豊かにしてくれるものがあります。埼玉クラブは来年、創立20周年を迎えます。

埼玉クラブではこれまでに30回を越える渡航と、受け入れをしました。これらの交換は会員の熱意と協力により成功裡に終わったものと思っています。

私が渡航した中で、特に印象深かったのはラトビアのリガクラブを訪問した時のことです。

また、英国やその他のヨーロッパで多くの古い城を見学した時の事も強く印象に残っています。城は一見、王の優雅な住居ですが、それは同時に牢獄であり、処刑場でもありました。見た目には美しいけれど、そこでは人類のむごたらしい戦いの歴史や残酷さを強く感じました。

その様な戦争が今も世界のあちこちで続いています。大変悲しいことだと思います。

フレンドシップフォースの使命は異文化の長所と共通点を学び、共感を持つことに有ります。ここにお集まりの皆様は、その実現を先頭に立って導く人々だと思います。

来年は日本に来られて世界大会を盛り上げ、使命の達成に向け前進しましょう。

世界大会で多くの友人達と再会

野澤 明子



全員で歌う「FFの歌」

初参加の世界大会で多くの友人達と再会しました。2000年、上野のホテルまで通い、5日間、東京案内のお手伝いをしたのが、ハンブルククラブとの出会いであり、埼玉クラブ会員として私の初めての活動でした。

ハンブルク空港で11年ぶりに再会したLenke夫妻は、今回のホスト、Evaは、デイホストとして市内案内や自宅でのアフタヌーンティー、Hoops夫妻からのディナー招待など、なつかしい多くの方々との時間を過ごしました。また、埼玉クラブが受け入れたドイツのコト布斯やリュウベッククラブの方々にもお会いすることが出来ました。

世界大会では、全体会、ワークショップ、ウエルカム、ガラパーティーなどを通して貴重な体験、新しい出会いもありました。改めて友情を結ぶフレンドシップの活動のすばらしさを実感しました。

他の方々の数々の感動的な出会いもありました。ひとつだけご紹介します。ホームステイ後、ベルリンの地下鉄構内で、偶然会った女の子！彼女は、埼玉クラブが、アメリカの交換で一緒になったコト布斯クラブの会員でした、当時、15歳、9年前のことだそうです。

これからも出会いを大切にFF活動に参加したいと思います。

ハンブルク世界大会に参加して

羽島継男



ハンブルクの郊外散歩



Halle Saale クラブのホームステイ

世界大会後のホームステイは、旧東ドイツの都市でと希望したところ、ラッキーにもドイツ中東部の小都市にあるFFHalle Saale クラブのご家庭に決まった。

Halle は人口23万の静かな街。父親の代にポーランドから移り住んだというウルフガング ザウワースさんのお宅にお世話になった。

ご夫妻が青春時代を過ごした時期は東西冷戦の真只中の東ドイツ時代、ご苦労が多かったと言う。

そこで教育を受けたロシア語は今ではすっかり忘れたとおっしゃる。

そして東西統一ドイツ誕生から21年が経過した今日、これからは英語が必要と気づき、イブニングスクール(?)に通って猛勉強したとか。

つましく、穏やかにしかも地球温暖化など幅広く環境問題に強い関心を寄せるご夫妻の姿が印象に残った。

勤勉、実直な国、ドイツを再認識した旅だった。

世界大会に初めて参加して

原田 史



ぶどう畑



フライブルク市庁舎の前で

ゆっくり話されても全部理解できるわけではない英語の会議ですが、やりとりが熱を帯びてくると、英語圏の人たちばかりが熱心かつ楽しげで、おいてきぼりの心境は少々つらいものがありました。何かもう少し、工夫がなされたらと思います。

一方、ハンブルク郊外のバスツアーは現場に行つて説明を受けるからか、豪農のファームハウスミュージアムや今も現役の風車など楽しめました。

ドイツに着くまで、ホストがわからないという困難(?)も乗り越え、娘との弥次喜多道中で締めくくった旅でした。

World Conference/Rheinhessen のホームステイに参加して

高堂 綾



ブラジルの方々と



Rheinhessen のホスト

今年の2月にFF埼玉に加入いたしまして、初めての渡航で世界大会(Hamburg)とRheinhessenのホームステイに参加いたしました。

世界大会は、8月26日～30日に開かれFF埼玉は21名と大勢の参加で、私としましては心強い限りでした。開会式、分科会、観光案内等、FF Hamburgのきめの細かい心遣いは、初心者の方にとって大変助かりました。世界大会の会場では、多くの方々が、国境を越え親睦を深めている姿を眺め、わたしもいつか・・・と夢見る世界を実現したいと思います。

Rheinhessenのホームステイでは、[Frankfurt, Mainz, ステイ先のEppel Sheimの歴史や文化それに生活様式などの紹介]と盛り沢山のプログラムを考えて下さい

ました。

また特別に招待して下さい、教会で行われたクラシックコンサートは、まさにドイツらしく荘厳で本来の音楽鑑賞は、この様な形式で静かに心を休め癒されるものと文化の違いを感じました。

Rheinhessenのステイ先では、2回程ホームパーティーが開かれFFのメンバードイツ、ロシア、アメリカ、日本と国際色豊かに話も盛り上がり話題も尽き無いまま夜が更けてゆきました。

初めての経験でこんなにも心豊かに世界が広がったこのことを、今後の活動に生かして行けたらと思います。

オレゴン受入 (2011. 10. 27~31)

オレゴン受入れ ED を終えて

西村 純枝

ウェルカムパーティ



盆栽博物館 中庭で



大事なお役しかも初 ED であったのにも拘わらず、私のモチベーションはただ一つ。

逢いたいなー！オレゴンの方たちに。その思いだけで ED をお引き受けしたような次第。

去年10月埼玉クラブの17人はドイツからの返答が不確かな中、受入れを快諾して下さったウィラメットクラブを訪問した。丁度ハロウィーン時期でもあり日本では楽しめないような大人のイベントを企画、又素晴らしい海辺のキャンプ・コテージでの優雅なひと時など心のこもった受入れをしていただいた。

時はあっという間に流れ、3月の東日本大震災・

地震、津波、放射能への不安。

悪夢は日本を覆い外国からの方々は日本を離れFFでも春からの交換にキャンセルが相次いだ。そんな中勇敢なオレゴンチーム14名は何事もなかったかのように義捐金を携えてたった4日間のために私たちを訪ねて下さった。友達でなかったら誰が円高や数々のリスクを押してまで私たちを訪ねてきてくれたらどうかと篤い思いに満たされた。

そんな時に ED をやらせていただいたことをそして、無謀な初 ED を懸命に助けて下さった仲間のみなさまや夫には頭が上がらない日々が続くと思う。

オレゴンの陽気なカップル

五十嵐 佑子

四季の家にて



自宅でポットラックパーティ



10月末にオレゴンの Weigel 夫妻のホストをさせていただきました。4日という短い期間ではありましたが、昨年のおステイのお返しをしたいという思いでした。

相変わらず元気で、いつも冗談を言っている陽気なカップルでした。ロイドは杖をつきながらも近所を迷うことなく散策し、ワニタはキルティングが趣味で、コーヒーではなく、毎日緑茶を愛飲しました。

フリーデイには Wyse 夫妻も一緒に川越を楽しみ、我が家で17人のポットラックパーティを開きました。

「ブレーメンの音楽隊」の英語劇も見ていただきました。集まって盛り上げて下さった皆様、有難うございました。

オレゴンの方々とは縁があり、Powell 夫妻とは5回、Weigel 夫妻とは4回、この1年間にお会いしたのです。オレゴンでの昨年のおホームステイ以来、ワシントンDCでの世界大会、ハンブルクでの世界大会、埼玉での受入れ、タイでのアジア・パシフィック・フェスティバルと続き、まるで一緒に世界を旅する仲間のようにになりました。

日本橋祭を案内「千貫みこし」を楽しむ 岡田 秀太郎、布子



ウエルカムパーティで



日本橋祭

SFF の新入会員としてのメインイベントを、つつがなく楽しく終えることが出来 ホットしています。

迎えましたジョン氏は東京の街の印象をクリーンだクリーンだと しきりに言っていました。

今まで 発展途上国への旅が多かったせいでしょう。

フリーDAY に新井副会長と岩崎さんも一緒に 銀座、日本橋を案内した時 日本橋祭の当日でしたので、お二人に日本の「おみこし」を それも我々でも あまり出会う機会のない神田明神の「千貫みこし」を見せ

られたのは、私としてもうれしいことでした。

我が家での4日間、お元気であっても 多少 老齡のご主人をなにかとケアしているケイ夫人のやさしい しぐさがほのぼのと思い出されます。

私達も 以前 ビジネスで海外の方々とのご縁は 幾度かありましたが、互いに家庭人として ゆっくり話す機会は 始めてで 時として互いの子供の話題によく触れ やはり家族の「絆」の大切さは、世界中 変わらないものだと思います。

Asia Pacific Festival とホームステイ (2011. 11. 07~17)

Asia Pacific Festival 沼 純子



チェンマイクラブ会員と



習字指導



日本語クラスの高校生と

2年に1回のアジアパシフィック フェスティバルは、今年タイのチェンマイで行われました。日本、アメリカ、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダから合計 78 名、埼玉クラブからは 11 名が参加しました。

バンコクから 700 キロ離れた現地では洪水の影響もほとんどなく、4 日間のフェスティバルとその後の 4 日間のホームステイも順調で、楽しい活動が満載。とりわけランプーンの花の祭典は熱気球、精霊流し、花火、パレードと熱気あふれる見事なものでした。

私たち日本人は浴衣姿で、フレンドシップ・フォースのバナーを手にパレードに参加しました。

象保護区で象に乗ってゆらゆら川沿いを進んだり、熱帯林のトレッキングも良かったですが、最も印象に残るのは、現地の高校を訪問して、タイ料理を教わったり、日本語を学んでいる生徒たちと交流できたことです。日本語の本をそれぞれ持ち寄って寄贈し、水害見舞金を寄付いたしました。

タイ北方 3 市を挙げての大歓迎や、ホストファミリーの暖かいもてなしに心から感謝しています。

初めて FF のプログラムに参加 三好 紀子(新会員)



タイ式の精霊流し作り



Farewell Dinner (Northern Traditional Dinner)

初めて FF のプログラムに埼玉クラブの一員として参加させていただき、10名の豊かな人間性に触れ、この上なく楽しい旅でした。各国のどの参加者とも分け隔てなく接し、友情をはぐむことが FF の神髄であると、みなさまの姿勢から学ぶことができました。

一方、交流を通して異文化理解を進めようと、迎えるタイの2つのクラブが総力をあげて全日程を練り上げ

歓迎してくださり、実行に際しても最大の配慮を払っておられるようすを見るにつけ、人の善意というものに全幅の信頼を置くうれしさを感じました。

出会ったかたが一人ひとりから学ぶものは大きく、東日本大震災で傷ついた心の一部を癒すことができた旅でもありました。

ありがとうございました。

Asia Pacific Festival に参加して 江田 雅彦



Hariphunchai Temple



Festival で Balloon あげ



象と仲良く

前回までの Homestay とは違って、今回の Festival は太平洋岸6か国から大勢の人々が参加するので、期待と不安で一杯でした。

初日 Festival 期間の宿泊ホテルでの Welcome dinner で顔見知りの Oregon club のメンバーと再開した時、やっとリラックスして Festival を楽しむ気分になることが出来ました。

2日目の市長訪問後の地元の人々による Local culture performance は本当に素晴らしいものでした。特に子供達のダンスや楽器演奏はメロメロになる程楽しませてくれました。午後地元の学生の指導の下、椰子の幹と葉を使用したタイ式の精霊流しを作り川に放流しましたその後の夕食会は突然の夕立と停電により思い出深い闇鍋パーティーになりました。

3日目の象保護区訪問では初めての Elephant performance と Elephant riding を楽しむことが出来ました。夕食後に参加した Loy Krathong Festival では6か国の民族衣装に対する拍手による選別により、男性は日本(札幌)、女性はメキシコが1位になりクラウンを獲得しました。続いて行われたメインイベントのパレードでは、キング(日本)と

クイーン(メキシコ)の乗った山車を従え、日本を先頭に外国からの訪問団と共に行進しました。自分達のパレード終了後は、スタンド席から地元の各地区の山車のパレードを楽しむことが出来ました。続々と到着する山車は華やかなイルミネーションに輝き、台上では美女や美男によるパフォーマンスが見られました。毎年11月半ばの満月の夜に行われるこの Festival に対する地元の人々の熱狂ぶりを表現するのは、fantastic と云うよりは良い意味の crazy と云う語がピッタリと感じました。

4日目の植物園訪問では複数の巨大な温室を巡りましたが、私としては orchid(ラン)と fern(シダ)を素晴らしく感じました。Farewell party はプール脇に特設された会場で素晴らしい満月の下行われました。ステージ脇に座った私は地元の人々によるパフォーマンスを十分に楽しむことが出来ました。

以上の正味4日間の Festival は以前の Homestay とは違う素晴らしい感動を私に与えてくれました。

又 機会があれば、是非このような Festival に参加したい(させていただきたい)と切望いたします。

国際フェア〈11月5,6日 さいたま新都心〉 高橋 京子

毎年、色づいた櫨の葉が舞い散る”けやき広場”で開かれる国際交流のイベントに、今年も参加しました。たくさんのテントにはカラフルな民族衣裳や民芸品が溢れ、美味しい匂いの漂う中人々が集います！

FF埼玉クラブは、駅から来た人に目に付きやすい場所で、《フレンドシップ フォースの目的は？》《1992年設立以来の活動》等、明るく、フレンドリーな美しい

写真のパネル、チラシ、広報紙を用意しました。

お天気の良い24日は立ち寄りの方が多く滞在型の国際交流の”深いお付き合いの楽しさ”等で話が弾みましたが、2日目はあいにくの大雨や、アリーナのイベントの余波で人出が疎らな中、埼玉に避難されている郡山クラブの会員の方が訪ねてくれました！！

24回FF日本大会・群馬太田 11月19,20日 新井 ミキエ



22クラブ、161名の出席のもと開催された。

(埼玉クラブから12名参加)

- ①災害があった翌年(10月末)に 又、原爆・原発の経験国として広島での世界大会開催は意義深い大会になるだろう。
- ②来年、山梨県に25番目のクラブが誕生する。
- ③合同渡航する場合は Leading club を決め、窓口を一本化すること。Leading club の渡航方式にしたがうこと。
- ④ED はアンバサダーの正確な情報をきちんと相手

クラブに伝えることが大切である。

- ⑤他クラブの渡航に参加する場合は、会長を通して申込むこと。会長の推薦が必要。
- ⑥日本大会は2013年は鳥取クラブ、2014年は札幌クラブに決定。来年は世界大会が広島で行われるため日本大会は行わない。
- ⑦宮城・郡山クラブの現状報告。義援金のお礼。瓦礫の山・除染・その他問題は山積。その様な中、新潟クラブとの国内交換を行い楽しかった。

健康体操を体験して

中島 正子

健康体操体験というチャンスを得て、初めて指定された場所に一番乗りで伺いました。素敵なお岩崎さんの指導の下で、一つ一つ自分の身体のパーツを動かしながら感じたことは、まずとても気持ちが良いこと・・・これは特別な道具や機械を使わず自分で出来ることなので無理がありません。

また皆様と一緒に声を出しながらやりますので、楽しいですね・・・長続きの秘訣です。さらに自分で痛いところや力加減が分かり、ちゃんと先生に指導していただいて整体することにより、健康改善というメリットがあること。是非私もお仲間入りさせて貰いたいな～と思いました。

新入会員(10人) 紹介

1)高堂 綾

今年2月に入会致しました。料理、お菓子作りが大好きです。

早々に8月末には、世界大会に参加しFFの素晴らしさを体感しました。

今後、私で役に立つことができましたならば協力し活動に参加したいと思います。

2)田中 新一、ヨシ

私たちは現在埼玉県の一泊二日ホームステイ事業で扱う外国で日本語の先生を研修カリキュラムの中の一環で一泊二日のホームステイを受け入れしています。

世界でホームステイの仲間に入れて頂きたいと思っております

3) 外山 哲代

FFは、ホームステイや受け入れ活動を通して異文化を学べる貴重なクラブだと思います。
また、FF埼玉の皆様との交流の中で、自分を高め、クラブのお役に立つ事が出来れば、幸いです。
どうぞ宜しくお願い致します。

4) 中島 正子

市民の森で沼会長と出会ったのが入会のきっかけで、私自身「ポトマック茶論」という国際文化交流・生活の美学のボランティアを20年し、良き情報発信をしながらクオリティーライフを楽しむことが好きです。

5) 赤川 スミ子

はじめまして。趣味は茶、花、琴、俳句、水墨画ですが、それらを上回るのは人との交流です。
人が人を繋ぐ連鎖は常にエキサイティング。好奇心が掻き立てられます。
お互いの魅力を発見、発掘していくのが楽しみです。

6) 小久保 徹

Nice to meet you. 私は留学時代の初めの1年間、ホストファミリーに大変お世話になり、非常に有難かったことを今でも覚えています。

今度は自分が日本に来た外国の方々には何らかの形で恩返したいという思いからFFに入会しました。

7) 小山 泉

子供の手も離れ、2年ほど前海外へ旅してまいりました。見るもの、聞くもの全て感動でした。
今度は世界中の人にお会いしお話できたらとの思いで、入会しました。よろしくお願ひします。

8) 楠田 恒雄

この度、ザ・フレンドシップフォース・オブ・埼玉の仲間に入れていただくことになりました。
近々訪れる完全退職後に向けて、「質の高い生活をリーズナブルなコストで」実現できることを期待しています。趣味はコーラスです。

9) 新原 敏夫

子供が独立して夫婦二人だけになったことを契機に、FF 埼玉に参加致しました。海外からの人々、特に発展途上国からの人々を受け入れることを通して、本会に貢献したいと考えています。
よろしくお願ひいたします。

10) 高橋 節子

特別にできる事はございませんが、大変興味がございましたので入会させていただきました。
皆様の足手まといにならないように、お手伝いをさせていただきたいと思っております。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

クラブからのお知らせ（2012年 概略スケジュール）

- 1) 総会 : 1月29日(日) 午前・午後 浦和コミセン第13集会室
- 2) World Friendship Day : 3月1日
- 3) USA シェルビー受入れ : 4月初旬 ED 高橋京子、サブ ED 斉藤文子
- 4) さいたま国際フェア : 5月連休
- 5) イギリス、レスターシャー渡航 : 5月23日～30日、ED 稲垣洋子、サブ ED 原田史、斉藤文子
- 6) ベルギー、ルーバン渡航 : 6月1日～8日、ED 稲垣洋子、サブ ED 原田史、斉藤文子
- 7) オーストラリア受入れ : 9月14日(金)～21日(金)、ED 新井ミキエ、サブ ED 岩崎倉子
- 8) 広島世界大会 : 10月30日～11月2日、大会後ホームステイ受入れの可能性あり。
- 9) 埼玉クラブ20周年記念式典 : 時期は11月上旬 場所は 大宮ラフォーレ清水園など検討中

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒337-0052 さいたま市見沼区堀崎町 295-7

TEL : 048-684-9733 FAX : 048-684-9733

発行日 : 2011年12月11日